



元気に挨拶 笑顔で挑戦 夢が広がる大北小

大北がより

学校評価号②

令和6年 12月 25日

練馬区立大泉北小学校

校長 松井 貴子

<https://www.ooizumi-n-e.nerima-tky.ed.jp/>大泉北小学校/

「なりたい自分になるために」2学期児童学校評価アンケート

校長 松井 貴子

お陰様で11月に、開校50周年記念式典や学習成果である掲示物や動画を披露し、児童および教職員、実行委員会を中心とした地域・保護者の皆様、関係機関の皆様と記憶に残る行事を創り上げ、達成感を得ることができました。皆様の温かいご支援に感謝申し上げます。引き続き、周年をチャンスとし、子供たちに感謝の気持ちを持ち、学校行事などで活躍できるように、保護者・地域の皆様、関係機関の皆様に御支援賜りますようお願い申し上げます。

令和6年7月に続き、11月後半児童による学校評価児童アンケート20項目の結果と3学期および次年度の教育活動の取り組みの改善や重点をお知らせします。

◎令和6年12月 大泉北小学校児童アンケート結果より 児童数489名（回収率約90%）

肯定的な回答85%以上の項目

（7月との比較青：上昇 / 緑：ほぼ同じ / 赤：下降）

2	あなたは、友達と話し合い、仲良く活動していますか。	95.9%
10	あなたは、みんなで決めた目標や学校のきまり、交通ルールなどを守っていますか。	95.3%
14	あなたは、「自分の身は自分で守る」ために、避難訓練の約束やSNSルールなどを守り、安全行動をしていますか。	94.9%
7	学校の授業は楽しくわかりやすいですか。	91.4%
5	あなたは、相手の話を「目と耳と心」でしっかり聞こうとしていますか。	90.5%
1	学校は楽しいですか。	90.3%
4	あなたは、すすんであいさつや返事をしていますか。	90.2%
17	あなたは、友達のよいところを伝えたり、感謝の気持ちを言葉にしたりしていますか。	89.9%
3	あなたは、いろいろなことも目標をもって、笑顔で（または、粘り強く）挑戦していますか。	88.8%
16	あなたは、友達や学校のみんなの役に立つことを考えたり、行動したりしていますか。	87.8%
8	あなたは、タブレットPCを使って楽しく勉強をしていますか。	86.4%
20	あなたは、家の人や地域の人に、感謝の気持ちを伝えていますか。【新設】	85.9%

肯定的な意見が80%以上85%未満の項目

11	先生方（心のふれあい相談員・スクールカウンセラー・生活支員・あおぞらルームも含む）は相談しやすいですか。	83.6%
15	あなたは、すすんで運動したり、外で遊んだりしていますか。	82.4%
9	あなたは、早寝・早起き・朝ごはんを守って生活できていますか。	81.2%
12	あなたは、自分で学習計画を立て、宿題や家庭学習に取り組んでいますか。	81.2%
13	あなたは、お家の人に学校での出来事や様子をよく話していますか。	81.1%

肯定的な意見が80%未満の項目

19	あなたは、夢や目標について考えたり、他の人と話したりしていますか。	78.5%
6	あなたは、すすんで読書をしていますか。（辞書や図鑑、新聞、電子書籍を含む）	75.3%
18	あなたは、自分のよいところを言えますか。	67.5%

「挨拶」「感謝」「傾聴」「全力で挑戦」で学校生活の楽しさの質を子供たちと高めてきた成果が上がってきています。令和6年度3学期、前回に続き重点的に意識して課題改善を図る3項目についてお知らせします。

「なりたい自分になるために」 項目19

「夢や目標について考えたり、他の人と話したりしていますか」については、夢の実現に向けた大切なプロセスを日常的に意識して学校生活を送ることについての質問です。7月よりポイントが上がってきています。「キャリア・パスポート」には学期ごとの振り返りをしています。2学期末、3学期も丁寧に省察の時間を設けていきます。(※省察=自分のことを顧みて考えをめぐらすこと)

自己肯定感の向上に向け、自分の「すき」をみつけよう 項目18

大泉北小学校では、自己肯定感を高めるためにキャリア教育の推進に力を入れ「なりたい自分になるために」と取り組んでいます。2学期は学校行事などで目標に向かって取り組む機会も多くありました。友達や教師からの価値付けや保護者・地域関係者からの賞賛などにより児童が自分のよさを見付けられたのでしょうか。認められると嬉しいのは誰もが有る欲求だと思います。はじめは他者からの賞賛が外発的動機づけとなって、次もやってみようという意欲につながります。成功体験が積み重なると、ちょっと努力すればできそうという内発的な動機づけが「やる気スイッチ」として働きやすくなります。

12月の全校朝会で、谷川俊太郎氏の『好きノート』を紹介しました。大人でも、あらためて整理してみないと自分の「好き」を言えないものです。この本は大人も子供も使えるように工夫されている上、「あいているところに絵を描いてもよいし、写真を切り抜いて貼ってもいいし、字を書いてもいい。ただの落書きでもいい。作者との合作で世界に1冊しかない本をつくる」というものです。自由に自分を見つめるヒントになります。

さて、学校では引き続き「キャリア・パスポート」を活用し、自分が成長した点、頑張った点を実感できるように記録の工夫をしています。そして、自分の好きを見付け、自分のよさにしていけるよう支援していきます。

読書活動の充実 項目6

人生において効率のみ追求することは本当によいことなのでしょうか。人気作家のヨシタケシンスケ著書『メメント・モリ』を手にしたときに、なんともおしゃれな題名をつけていると感心しました。ラテン語で「メメント・モリ」は「自分がいつか死ぬことを想え」という意味で、生きる意味？を考える主人公の姉と弟、子供たちのやり取りから考えることができる哲学的な絵本です。「人間はびっくりするために生きているんだ。」という作者の人生の受け止め方が面白いので読んでみました。読み進めているうちに、子供の頃流行し今も読み継がれているチャールズ・M・シュルツ著『PEANUTS(ピーナッツ)』シリーズ、谷川俊太郎氏が日本語に訳したものを読んだ時の感動がよみがえってきました。今、読んでも名言を見つけることができます。「情報は言葉」で、語彙の豊かさは重要です。『子どもの読書活動に関する法律』の基本理念は、大きく下記の2つと捉えることができます。

- ・読書活動は子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものである。
- ・すべての子どもが自主的に読書活動を行うことができるように積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

本を読む理由として「ちょっと知りたい。」「友達がすすめてくれたから。」が多いそうです。11月の読書旬間に「心にのこる1冊」を全校児童が絵や感想を交えてかきました。習慣作りは、1日10分でも続けていくことが大事です。御家庭でも冬休みも子供たちと本を通しての楽しい時間を共有していただけたら嬉しいです。

4年生が練馬区内にあるスタジオからアニメ教育と読書の往還を図った授業をすすめており、3学期にはキャリア教育と関連させた学習を実施する予定です。1年生、2年生では担任と学校図書館支援員が協力して読み聞かせの機会を増やしており、落ち着いた学習が展開されています。

小学校入学時に子供が獲得している語彙は2000~7000語で差があるとのデータが示されました。読書を好きになるきっかけは早い方がよいと考え、幼保小の連携教育として11月、近隣幼稚園の園児さんを小学校の学校訪問に御招待し読み聞かせをしました。今後スタートカリキュラムとしても検討していきたいと思っております。